

仲間とつかんだ世界一

日本代表として胸をはれるプレーを

河内中学校 横山 陽樹さん

「力を出し切れたので、代表に選ばれる自信はあった」と話す横山さん。少年野球全日本代表の18人に選ばれ、8月にアメリカで開催された2017世界少年野球大会で、全試合4番打者として、見事優勝を勝ち取り、世界一になりました。所属する栃木さくらボーイズでも、4番打者で捕手を務める横山さん。ボーイズリーグ県支部長の菅原一浩さんは、「肩が強いし、リードがうまく勤も良い。バッターとしても長打力が

ある選手」と、その能力の高さに太鼓判を押します。

「幼い頃から自然と野球をする環境が整っていた」と話す横山さんが本格的に野球を始めたのは、小学3年生の時。先に野球を始めたお兄さんの練習について行ったり、試合を見たりと、常に野球は身近にあったそうです。「一球一球で試合が動くところが面白い。野球は一人ではできない競技。仲間と技術を高めていきたい」と、辛い練習も仲間と切磋琢磨し、乗り越えていきました。

「野球は自分の人生そのもの。自分が兄やチームメイトを目標にしてきたように、後輩に胸を張れるプレーをしていきたい」と話す横山さん。世界大会を経験し、一回り大きくなった横山さんの今後の活躍に注目です。



今回のゲスト

ドウ・シャザール・マイエル・ギヨムさん (フランス)

フランスオルレアン出身。24歳で留学のため、宇都宮へ。現在は、市内でフランス語教室「シャザール」を営む。好きなものは、歴史、映画、餃子、チョコレートなど。好きな日本語は「がんばります」。



外国人の皆さんに宇都宮のイトコを訪れてもらいました

今回のテーマは「うつのみや百景」

今回、私が訪れたのは「うつのみや百景」のうち「うつのみや遺跡の広場」と「若山農場」の2カ所です。

うつのみや遺跡の広場は、縄文時代の人たちの集落跡を復元した場所とのこと。復元された建物は、中の構造や屋根の造りなどが、ガリア人(古代ヨーロッパに住んでいた人たち)の建物と似ていて、日本とヨーロッパでこんなに距離があるのに、考えが似かよっていてもおもしろいと思いました。

次は若山農場です。こちらは、何ととっても広大な竹林の風景が見事です。また、風が吹くとサラサラと鳴る笹の音も風情があり、心が落ち着きます。フランスには竹がないので、日本を代表する「和」の風景を宇都宮で感じることができず、誰が来てもうれしくなる場所だと思えます。

うつのみや百景。宇都宮には驚きの景色、興味深い景色がたくさんあると思います。皆さん、ぜひ、素晴らしい景色と、その景色に関わる歴史や魅力などを知るために、出掛けてみませんか。

※うつのみや百景については、市HPをご覧ください。



1うつのみや遺跡の広場で山口伊津子さん(西山文化財愛護会)より説明を受ける 2うつのみや遺跡の広場 3若山農場 4若山農場で若山太郎さん(代表取締役)より説明を受ける

「うつのみや百景」について、9月10日(日)午前10時30分～10時40分とちぎテレビ「教えてイトコUTSUNOMIYA」(再放送)で放送します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。

◎**県農業大学校平成30年度生募集** ■**募集人数** 農業経営学科25人、園芸経営学科40人(野菜、果樹、花き各専攻)、畜産経営学科15人 ■**出願期間(試験期日)** ▽推薦入学試験 9月15日まで(10月27日) ▽一般入学試験(前期) 11月20日～12月4日(平成30年1月10日) ▽一般入学試験(後期) 2月2～16日(2月23日) ■**その他** 申し込み方法など、詳しくは、県農業大学校学生課(上籠谷町) ☎(667)0711へ。